

豊中の未来を描こう！！

発行2015年12月

VOL. 110

これからの大阪は
どうなっていくの
でしょうね。

豊中市議会議員
無所属

かんばらこういちろう 神原宏一郎の つながり通信

～生活・社会そして人・・・すべては政治とつながっている～



関心・期待感・信頼感を抱く政治へ

クリーンランド議会2014年度決算審議

リサイクルにも費用対効果の視点を！！～再資源化事業は大赤字～



Q. 一昨年度と比べて、昨年度の再資源化経費は約1140万円も増加。また、ペットボトル類以外の廃棄物は、再資源化経費と売却利益の収支差益が全て赤字。赤字総額は合計で約3億1260万円となっている。再資源化をすればするほど赤字額は膨らみ、市民の税負担も増えるのではないかと？

A. 経済的な観点も重要であると考えているが、循環型社会の構築という環境行政に対する社会からの要請に応え、限りある資源の有効利用と、環境負荷の低減に向けた取組みが、より優先されるべきものと考えている。また、今後全体的な収支の黒字化は見込めない状況であることは認識している。しかし、品目によっては、再資源化量が増加するほど赤字額が増加するとは必ずしも言えない。

Q. 再資源化事業による、これまでの収支赤字額はどれくらいに上っているのか？

A. これまでの収支赤字額は、リサイクルプラザ稼働後の平成24年度からの累計では、9億4600万円。

(意見)豊中市民、伊丹市民に再資源化事業に係るコストや累積赤字等の情報を周知せず、両市民に税負担を強いること、血税の投入をし続けることは納得がいきません。再資源化事業は約3億円/年以上の赤字になっているが、再資源化を止め、可燃処理すれば、売電収入として数千万円/年の収益が見込め、結果的に納税者の負担軽減につながる。再資源化経費と売却利益の収支差益が赤字であることを早急に解消するべく事業手法の抜本的見直しをするべき！！

業務上必要な資格・免許の取得支援を！！

Q. 業務上必要な資格・免許にはどのようなものがあるか？

A. 設置義務がある資格として「電気主任技術者」「ボイラー・タービン主任技術者」、複数人の設置義務がある「危険物取扱者」。また、個別の作業や業務に従事するに当たり、必要な資格である「クレーン運転士」や「ボイラー技士」、「酸素欠乏・硫化水素危険作業主任」。

Q. 有資格者はそれぞれ何人いるのか？

A. 電気主任技術者が**3名**、うち1名が再任用職員。ボイラー・タービン主任技術者が7名、うち2名が再任用職員。危険物取扱者が26名、うち4名が再任用職員。クレーン運転士が59名、うち6名が再任用職員。ボイラー技士が29名、うち4名が再任用職員。酸素欠乏・硫化水素危険作業主任が32名、うち6名が再任用職員。

(意見)電気主任技術者のように有資格者数の少ない資格、そうでない資格でも現在の資格・免許保持者のうち、再任用職員やあと5年以内に定年退職する職員が多数いることから、早急に、資格取得と職員育成を併せた人材育成計画を策定するべき！！

職員数の適正化と多様な雇用形態の活用を！！

Q. 来年には新ごみ処理施設の竣工が予定されているが、クリーンランドとして、職員の適正数及び、正職員、再任用職員、一般職非常勤職員それぞれの適正数は何人と考えているのか？

A. 新施設での職員数は、概ね100名前後と考えており、正規職員が80名前後で、残りが短時間勤務職員と考えている。短時間再任用職員の減少に伴う対応は、職域に対する補充が出来ない状態が生じた場合、一般職非常勤職員の職域へと切り替え、対応することを考えている

(意見)今後、再任用職員数の減少が見込まれる中、一般職非常勤職員への職域切替えだけでなく、各業務における民間活力導入のメリット、デメリットを勘案しながら多様な雇用形態による職員配置の適正化を検討するべき！！



◆12月議会個人質問予定◆

①違法設置された避難誘導看板の撤去を！！

市内各地の道路沿いには、緊急時に市民が避難する公共施設などを示した「避難誘導看板」が多数設置されています。「避難誘導看板」の中にはかなり昔に道路管理者の許可を得ずに、勝手に広告を集めて設置されたものも少なからず存在します。既に閉鎖された施設が避難場所として表示されているものや、老朽化で落下の危険のあるものも存在しているようで、撤去に乗り出している自治体もあります。

(質問)

豊中市には、同様の「避難誘導看板」はどれくらい存在しているのか？現状把握と必要に応じた対応が必要ではないか？

②何故、堆肥化事業に固執するのか！？

生ごみ・剪定枝堆肥化事業は平成14年から実施され、初期投資を含め、**約4億円**もの税金を投入してきました。毎年の事業予算は、**約3000万円**。ちなみに、生ごみ・剪定枝堆肥化事業を中止し、学校給食の残菜や残飯等を焼却処理した場合の費用は年間**約800万円**で、大幅な経費削減が可能になります。これまでの税金投入額や高額な事業経費を考えると、多くの市民納税者には納得のいく事業ではないはずです。

(質問①)

なぜ、**2160万円**もかけて、堆肥化機械の更新をするのか？しかも、わざわざ随意契約で、北海道の企業から購入する必要があったのか？

(質問②)

多くの自治体が費用対効果、事業効果を見きわめ、学校給食の堆肥化事業を行っておらず、堆肥化機械の製造を行っている業者もほとんど無い状況を、もっと深刻に受け止め、事業の廃止を検討すべきではないか？

③予防接種サポートシステムの導入を！！

東京都練馬区では今年度からインターネットで、区民の予防接種の日程を管理するシステムを導入しました。パソコンやスマートフォンなどで接種を受ける子どもの生年月日などを入力すれば、接種期限、間隔、回数など、個々にあった接種スケジュールを自動で作成し、接種忘れの防止に接種日のメール通知もしてくれます。

(質問)

年々、定期接種の対象疾病数、接種回数が増え、ワクチンによって接種時期、回数、間隔が異なり、保護者にとってはスケジュール管理が大きな負担となっている。複数回接種が必要なワクチンの中には、接種忘れ等で接種率の低いものもある。接種漏れや接種間違いの防止、保護者の負担軽減を目的に、豊中市でも「予防接種サポートシステム」の導入を検討してはどうか？

豊中市議会 12月定例会の予定

◆本会議(初日) 11月30日(月) 午後1時から

◆各常任委員会 午前10時から

12月3日(木)、4日(金)、7日(月)、8日(火)

◆本会議(個人質問) 午前10時から

12月18日(金)、21日(月)、22日(火)

※変更する場合もございますので、議会事務局までご確認下さい。(議会事務局議事課:TEL:06-6858-2633)



インターネット中継配信中！！
神原の個人質問は21日の予定
ぜひ、ご視聴下さい！！

皆さまのご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

メールアドレス

young_spiritjp@yahoo.co.jp



発行元 前向きひろば ~Positive Square~

〒560-0021 豊中市本町 3-1-20 エルビル 2階

TEL&FAX:06-6854-5664

平日(土・祝日は除く)の10時から17時はスタッフがおります。

young_spiritjp@yahoo.co.jp

http://www.geocities.jp/positive_square/

Facebook 活用しています！！

「つながり日記」毎日 HP で更新中！！

※ご希望の方には通信を無料でお届けします。お気軽にご連絡ください。



前向きひろば 神原宏一郎 事務所

